

こだま新聞

第203号
平成24年9月

骨粗鬆症と歯数

昨年発行された「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」に歯と骨粗鬆(そしやう)症との関連について次のように記載されていました。

「歯数は低骨密度の指標となり得るが、年齢や口腔の衛生状態で歯数は影響される。」

その根拠として、歯数20本以上では低骨密度の割合が7%であったのに対し、歯数が20本未満では低骨密度の割合が32%と高い結果となった。(31歳〜79歳女性190人を対象とした調査)。また、歯数22本以上の人と歯数22本未満の人と低骨濃度との関連を調べた調査では関連性が低かったと報告されている。(閉経後の女性1365人の調査で、外国人が対象)。

このガイドラインでは他の調査結果も書かれていて、病気のリスクを引き上げる要因として次の点を記載しています。

1. 喫煙
喫煙はカルシウムの吸収を抑制するため、喫煙しない人に比べ骨折のリスクが1.8倍高くなる。
2. アルコール
アルコールはカルシウムの吸収を抑制し排出を促進するため、骨折のリスクが1.7倍高くなっている。
3. 身長の変化
25歳の身長よりも4センチ以上低下している場合、骨折のリスクが2.8倍高くなっている。
4. 体重
40歳から60歳の女性で健診で異常が認められない場合、体重が70キログラム以下の方は骨密度の検査を行なったほうが良い。(これは外国での調査で日本人に当てはまるか疑問)

現在の骨粗鬆症の治療では病気のものよりも、それが骨折の原因にならないように対応することに重点が置かれているようです。

歯科では虫歯の治療や歯周病の治療、歯科矯正治療などへの影響は心配ありません。

ただし、歯を抜くなど、顎の骨に対する治療が必要なきは慎重な対応が求められています。骨粗鬆症の治療のためにお薬を使われている場合は必ず教えてくださいね。

今年の盆踊りから

1. 一日市盆踊り



2. 盆踊り前夜祭

4. 一日市屋台村



3. 路上ミュージカル



今月の行事

9月

- 1日 八中学校祭(体育祭)
- 2日 八中学校祭(文化祭)
- 2日 町長選挙(無競争)
- 6日 日本語教室
- 7日 クライム臨時会議
- 7日 ミュージカル反省会
- 8日 クライム定例会
- 8日 能代おなごりフェス
- 11日 浦城の歴史 理事会
- 13日 中富たつ子三回忌
- 13日 CM製作委員会
- 16日 駅からハイキング
- 16日 上町商店街研修旅行
- 22日 クライム研修旅行
- 28日 前夜祭反省会

